

会 議 録

1 会議名

令和3年度 第8回津有区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

① 令和4年度地域活動支援事業の採択方針等の検討について

② 情報交換会の開催について（振り返り）

3 開催日時

令和4年2月28日（月）午後6時30分から午後7時36分まで

4 開催場所

津有地区公民館 大会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：大滝英夫、千代金治、相馬祐一、田中博三（副会長）、中島 功
藤本孝昭（会長）、古川勝夫、古川 仁（欠席4名）

・事務局：中部まちづくりセンター 小林センター長、藤井係長

8 発言の内容（要旨）

【小林センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【藤本会長】

- ・会議録の確認者：田中副会長

次第2議題「(1) 協議事項」の「① 令和4年度地域活動支援事業の採択方針等の

検討について」に入る。

事務局より説明を求める。

【小林センター長】

- ・資料1～4に基づき説明

【藤本会長】

資料1について、黄色の事項を順に確認していく。

修正のある委員は都度、発言願う。

検討①「募集期間」について、意見を求める。

発言がなければ修正なしでよいか。

(よしの声)

【藤本会長】

次に検討②「津有区で募集する取組(募集テーマ)」の8項目について意見を求める。

発言がなければ修正なしでよいか。

(よしの声)

【藤本会長】

次に検討③「補助率」「補助下限額」について、意見を求める。

発言がなければ修正なしでよいか。

(よしの声)

【藤本会長】

次に検討④「ヒアリング」についてである。

事務局より説明があったように、ヒアリングは実施することとして、後日、申請件数に応じて所要時間の変更を検討することとしてよいか。

(よしの声)

【藤本会長】

次に検討⑤「共通審査基準」の5項目について、意見を求める。

発言がなければ修正なしでよいか。

(よしの声)

【藤本会長】

最後に資料1全体で修正等、意見を求める。

発言がないようなので、資料1記載の内容で決定してよいか。

(よしの声)

次に資料 2「審査方法」の各項目を一括して修正等、意見を求める。なお、記載の内容は今年度と同内容である。

【藤本会長】

「委員の過半数」であるが、藤井委員の逝去に伴い、過半数は何人になるか。

【小林センター長】

委員定数は変わりなく、欠員 1 名となり、過半数は 6 人となる。

【藤本会長】

その他の発言がないようなので、資料 2 記載の内容で決定してよいか。

(よしの声)

【藤本会長】

次に資料 3 の津有区地域協議会だよりは 3 月 16 日に予定している「地域活動支援事業 事前説明会」の開催についてである。

今年度は事務処理の関係上、事後報告となっているのだが、承認いただくことでよいか。

(よしの声)

次に資料 4「採択決定までのスケジュール」について、各項目を一括して修正意見のある委員の発言を求める。なお、記載されている各日程は今年度と同様である。

第 2 回地域協議会の日程が 5 月 25 日月曜日とあるが、水曜日の間違いではないか。

【小林センター長】

5 月 30 日月曜日の誤りである。申し訳ないが、読み替えて審議いただきたい。

【藤本会長】

事務局の説明のとおり、読み替えて審議を続けることとする。

他に発言がなければ、資料 4 の内容で決定してよいか。

(よしの声)

【藤本会長】

以上で次第 2 議題「(1) 協議事項」の「① 令和 4 年度地域活動支援事業の採択方針等の検討について」を終了する。

次に次第 2 議題「(1) 協議事項」の「② 情報交換会の開催について (振り返り)」に入る。事務局より説明を求める。

【小林センター長】

- ・資料5に基づき説明

【藤本会長】

資料5を基に、まずは当日出席した委員より当日の感想を伺いたいと思う。各自、印象に残った話題や気づきのあった点等について、話してほしい。

その後、全体で今後話し合うべき方向性や議論の進め方について意見交換したいと思う。最初に千代委員より発表願う。

【千代委員】

関係団体から活発な活動を伝えられたが、こういうものに対して積極的な対応が、市には感じられない。団体各自は素晴らしい活動をしているので、市が関わることで団体がまとまって活動した方が全国的に発信できるのではないかと。

【藤本会長】

次に中島委員より発表願う。

【中島委員】

団体の皆様は一生懸命やっている。地域協議会は何をすべきか考えさせられた。残りの任期の中で、いかに関われるか。7月の献碑祭までも時間がない。身の引き締まる思いである。

【藤本会長】

次に古川 仁委員より発表願う。

【古川 仁委員】

Aグループでは献碑祭実行委員長が一番熱のこもった話をしていて、市長と面談したとの発言があったが、津有区だけの事業では限度があり持続性がない。市のバックアップが必要ではないかと。

【藤本会長】

次に古川 勝夫委員より発表願う。

【古川 勝夫委員】

前島密のPRを、市でやってもらわないと駄目だと思う。子供からPRの底上げをしていかないと盛り上がらないというのが、関係団体からの共通の意見だった。

【藤本会長】

次に田中副会長より発表願う。

【田中副会長】

関係団体の活動内容を読むと、共通の課題として知名度が低いことが挙げられる。また各団体や津有区が、バラバラで年間行事を行っていて十分な効果が出ていない。8団体がもっと協力して情報共有、広報活動を行えば発展性があるのではないかと。

今回の献碑祭が終了したら、地域協議会と団体との関係は元に戻るのか。やはり継続性、発展性を考えて協力は不可欠だと思う。

【藤本会長】

前島密に焦点を当てた理由、それは観光ベースで活かそうということではない。

津有区の特長を生かして津有区の住民の活性化につなげようとしたからであり、最初に前島密を取り上げた。

小中学校へ行ったり、前島密記念館長から人物像を確認したり、様々な観点から情報を集め、関係する団体からは「津有区に何を期待するか」「津有区に対してできることは何か」を伺う予定であった。しかし時間が足りず踏み込んだ話に至らなかった。

これから前島密を、津有区の住民に「郵便の父」の概念から「近代日本の礎を築いた偉人」まで高めていただくことが、私達の役割だと感じた。それを他者でなく地域協議会から発信しないと主体性、自立性が出てこない。

次年度から地域活動支援事業は、地域独自の予算に移行するとの話を伺っているので、その間を繋ぎながら、団体の活動を紡いでいくことが私達の仕事だと思う。

【大滝委員】

今まで「郵便の父」前島密は、別世界の人や教科書の中の人といったイメージだった。地域協議会に参加して、郵便以外の功績が多くあると知った。私と同世代の人は同じ感覚だと思う。

いかに地域に浸透するか、それは前島密を研究している8団体の活動を住民に知ってもらうことからだと思う。広く住民の目に触れるような広報活動ができればよい。

【相馬委員】

関係団体が様々な活動をしている。地域協議会は活動の先頭に立つのではなく、協力する立場にある。地域協議会の考えを、団体に伝えて活動していただけたらよい。

【千代委員】

地域協議会は、団体を一つにまとめ、そのバックアップとして支えられれば良い。関係団体は継続して活動するには、まとまる必要があると思うが、地域協議会はバッ

クアップをしていくべきだと思う。

関係団体の思いを汲み取って、バックアップし合える体制を2、3年かけて作るのが良い。そして次期委員に引き継いでいければよいと思っている。

【藤本会長】

長期的展望に立った取り組みと、まとまった団体と地域協議会が、どんな関わりができるかを考えることと解釈した。

【中島委員】

それぞれの設立趣旨の基に、関係団体は活動している。私達から何かして欲しいというのは違うと思う。地域協議会は津有区に対して何かやらなくてはいけない。今年は献碑祭で協力できる事をして、それから何をやるべきか勉強していきたいと思う。

【藤本会長】

津有区の住民には、前島密は郵便の父、または記念館が下池部にあるくらいの認識だと思う。実はこういう人なのだ、と違う意識をもってもらうことはできると思う。

具体的なゴールイメージとしては、様々な方から提供いただいた情報をコンパクトにまとめたリーフレット等を作成し、少なくとも津有区の全戸に配布する。この事業に携わってくださる方を、関係団体や津有区内の人をお願いしてはどうか。これが発展して、区内の他の偉人も思い描けるようになると、「津有区の特長を生かした活性化策」という自主的審議事項のテーマに近づけると思う。

【大塚委員】

今の発言のとおり、地域の住民が前島密を理解することが大切であり、まず大人がリーフレット等で、子供より先に理解することが必要だと思う。

【田中副会長】

前島密の知名度を上げるため、津有区以外にも広くPRするのであれば関係団体と協力するのが良い。しかし、津有区地域協議会では、会長の発言のとおり身近な地域の住民を対象とした広報活動をすべきである。

【藤本会長】

本日の意見を反映させ、正副会長と事務局にて次回の議題を検討したいと思う。

以上で次第2 議題「(1) 協議事項」の「② 情報交換会の開催について(振り返り)」を終了する。

最後に次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認等」に入る。

次回の協議会日時：3月28日（月） 午後6時30分から

会場：津有地区公民館 大会議室

【藤本会長】

その他、何かあるか。

（発言なし）

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690（直通）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。